

土曜日を もっと特別な日に “サタデースクール”

小学校で月に1回程度、土曜日を中心に地域の方などを招き、子どもたちにスポーツや文化、料理などを教える「サッポロサタデースクール事業」が4月から始まりました。本年度は伏古小、福住小、発寒西小の3校で実施しています。



1



7月のサタデースクールでは、学校の近くで活動している、伝統文化の専門家を講師として招きました。

- ① 木をくり抜き動物の皮を使って作られた、アフリカのジャンベ太鼓を体験！思い切りたたくと、子どもたちは自然と笑顔に
- ② 贈答品や封筒に用いられる飾り紐である水引作り。挑戦する姿は真剣そのもの

参加した子どもに聞く サタデースクールの魅力

地域の人にいろいろな国の文化を教わりました。特に、間近で聞いた太鼓の演奏は大迫力！手に汗をかくくらい興奮しました。漫画を読みながら過ごしてしまういつもの土曜日とは違う体験ができて楽しかったです。

6年1組
せきた ゆりこ
関田 侑莉子さん



子どもと大人が 学び合う地域に

長年、地域の大人が子どもと同じ目線で共に学ぶことが大切だと考えていて、それが学校教育の中で実現できればという思いで企画・運営を引

【地域の方に聞きました！】



福住小でサタデースクールの企画・運営に関わる
みさか けいこ
三坂 桂子さん

き受けました。サタデースクールは、子どもが人生経験の豊かな大人やその道の熟練者と出会ったり、文化・スポーツなどを一緒に体験したりすることで、子どもの感性を育む取り組みです。普段の授業では得られない経験が、子どもの心をより豊かにしていくと思います。そして、参加する大人にとっても、子どもならではの素直な発想に気付かされる場

になります。私たち大人は、子どもを一人の人格として尊敬し、「お互いに学び合う」という意識を常に持つことが大事だと思います。サタデースクールは、地域ぐるみで子どもを育てていく「地域力」を高めるきっかけになると感じています。健康に育った子どもたちが将来の地域の担い手になる、そういう良い循環が生まれるといいですね。